

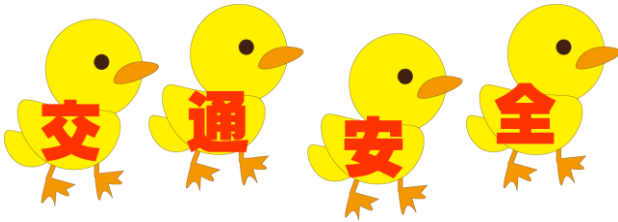
疲れた状態で運転すると・・・

疲れた状態で運転すると、危険を判断するタイミングが大幅に遅れ、危険を回避する間もなく事故する場合があります。これにより衝突の被害が大きくなり、死亡事故や重傷事故につながる恐れがあります。

運転前、もしくは運転中に眠気がしたり、ボーッとしてきたら、無理をせず運転を控えましょう。特に同乗者がいない場合、蓄積疲労のサインに気づきにくくなり、無理な運転につながります。



夏の暑さによる疲れや、睡眠不足で交通事故を起こさないよう、今一度、安全運転の規範意識を高めましょう。



警察官募集活動



まんが 柏屋コッコ

川や海での事故を防ぐ！

水難防止のポイント



出発前の準備は
万全にしましょう！



安全装備は確実に
装着しましょう！

天候の変化は常に
チェックしましょう！



遊んでいる場所か
確認しましょう！



飲酒しての
入水は危険！



子供から絶対に目を離さないで
ください！